

質問項目

■水野晴光議員

- 1 飯山市の活性化について
- 2 7月19日集中豪雨災害について
- 3 農業と観光について
- 4 飯山市の財政改善の方策について

■渡邊吉晴議員

- 1 新幹線駅前整備計画について
- 2 デマンドバスの運行について

■坪根繁喜議員

- 1 市政運営にのぞむ基本姿勢について
- 2 山積する課題解決への道筋について

■高橋正治議員

- 1 政治姿勢について
- 2 合併問題について
- 3 平成17年度決算について
- 4 農政問題について
- 5 道路除雪について

■小林初子議員

- 1 集落サロンの充実について
- 2 もったいない運動について
- 3 獣害対策について

■佐藤正夫議員

- 1 市政の運営について
- 2 新幹線トンネル工事による水枯れについて

■西條豊致議員

- 1 安心の住環境整備(千曲川治水)について
- 2 産業振興について

■小林喜美治議員

- 1 政治姿勢について
- 2 平成17年度決算について
- 3 新クリーンセンターについて

■山崎一郎議員

- 1 施政方針について
- 2 平成17年度決算について
- 3 第3子対策の重要性について
- 4 総合福祉センター移転について
- 5 福祉施策について
- 6 除雪問題について

性について

- 4 市街地の活性化について
- 5 千曲川増水時の市街地の問題点について

■大野峰太郎議員

- 1 千曲川治水について
- 2 産業の活性化策について
- 3 議案第156号財産の譲与について

■大塚武志議員

- 1 市長の市政運営について
- 2 農業振興について
- 3 新幹線トンネルによる水枯れについて
- 4 外様・柳原保育園の統合について

■水野英夫議員

- 1 産業振興について
- 2 財政状況について

■望月弘幸議員

- 1 新クリーンセンターについて
- 2 広域行政について
- 3 観光行政について
- 4 中学校統合について
- 5 除雪について

一般質問

通告一覧・複数の議員からなされた質問と答弁

○新クリーンセンター建設問題について

<答弁>

10月5日付けで、関沢区から、稼働延長の申し入れに対して「平成19年度からの現クリーンセンターの2年間延長は反対」との回答をいただきました。

しかし新クリーンセンターについては、長年、関沢区からご協力をいただきましたが、さらに2年間の延長をお願いすることが第一でございます。

ごみは毎日出され、その処分を民間業者に委託すると、多大な費用がかかります。そうすると、市民のみなさんに一番迷惑がかかることになります。

2年間の延長があったときは、1市2村でこの道を進めてきた前市長の道筋を踏襲しながら、できるだけお金がかからない方向に進め、その2年間のうちに藤沢での建設を進めていきたいと考えております。

○総合福祉センター建設問題について

<答弁>

総合福祉センター移転の関係については、膨大な費用をかけてまでの移転計画は中止せよというお声もありました。しかし、移転しない限り駅前周辺整備はできない、区画整理はできないことになるわけです。これはしなければなりません。

総合福祉センター移転については一体的移転が望ましいが、介護保険事業部門は須多ヶ峰に、一般事業分は空き施設の利用も検討する中で分離したいと考えており、計画の見直しを職員に命じております。移転においては、できる限りの節減に努め、機能的に充実してお年寄りに恩返しができるような対策をするべきだ、と考えております。

また、社会福祉協議会の介護事業については一体できておりますが、社協の役割はもっと広く、介護事業はより充実しながらも社協と介護事業を切り離し、介護事業は民間も手を挙げてきていますので、できるだけ民間に移していきたいと考えております。

○財政問題について

<答弁>

当市の潜在債務が全国ワースト13と報道され、飯山市も財政破綻するのではないかと心配がされておりますが、決してそのような状況ではありません。

17年度決算では実質公債比率19.4%となっておりますが、これは16年度まで70%の交付税措置となる過疎債を中心とした有利な起債等を使いまして、積極的に飯山市は上下水道等の整備を行ってまいったためです。17年度に公債費のピークを迎えたことと、下水道整備にかかわる公債費に対する繰出金がピークを迎えつつあるということが、一つの要因になっておりますが、交付税をもらいながら償還をし、20年以降には債務も減少してまいります。

全国各地を巡りましたが、このような地理条件にありながら、これだけ下水道が完備しているところはないと感じています。

今後また新幹線・クリーンセンター・福祉センターなどいろいろな問題も重なっておりますが、どうあろうとも市民に負担を強いることがないように、しっかりと状況説明をし、市民のみなさんと共に取り組んでいきたいと考えております。そのためにも、いわゆる箱物作りは行わず、必要があるものについては先人が作ったものをリフォームし、有効に活用していくべく努力をしていきたいと考えております。

編集後記

9月の市長選で石田新市長が誕生し、初めての議会が開催されました。

一般質問は3日間行われ、13名の議員が質問し、石田市長はその一つ一つに丁寧に答弁をなされました。議会の質疑の様子はインターネットで実況中継されますが、雨模様も手伝い多数の市民のみなさんが、新市長初議会ということで視聴されたようであります。総合的に活発な議会になったとの意見が多数のように思えました。

いずれにしても当市は難題が山積しており、今後の市政運営は大変な事になりそうです。

11月12日告示、19日投票の市議会議員選挙で、新しい顔ぶれが決まります。この議会だよりが届く頃は新体制がスタートすると思います。議会だよりが継続できることを願って終わりたいと思います。

議会だより編集委員

水野 晴光